

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大仙市立豊成小学校（秋田県）【指定校】

【取組内容】端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の推進・不登校児童への対応

(1) AIドリルの活用

本校では、家庭学習にドリルソフトを活用する児童が多い。アンケート調査では4年生以上の全児童が「ドリルソフトの活用でよく分かった・できるようになった。」と肯定的に回答した。担任は、一人一人の学習状況の把握とつまずき等を確認しその児童に合った課題を配信して、学習を支援した。またドリルソフトは、前の学年に戻って学習ができるため、特に上学年では、積極的な活用が見られた。

つまずきが見られた児童へは、直接コメント機能を使ってアドバイスをしたり、翌日学校での補充指導を行ったりした。

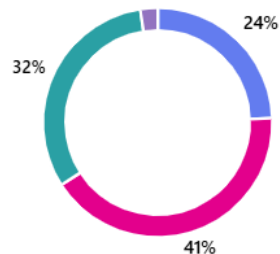
学習履歴 100% 100% 100%

学習状況は、子どもがドリルソフトの学習履歴と学習した問題数から算出しています。
 ※学習履歴は「学習履歴」タブで確認できます。学習履歴は、授業に活用される。
 ※学習履歴は「学習履歴」タブで確認できます。学習履歴は、授業に活用される。

学年平均	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0
クラス平均	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0
1	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0
2	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0
3	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0
4	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0
5	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0
6	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0
7	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0
8	34.000 88.0%	575.6	75.2%	3604.2	2710.9	239.0

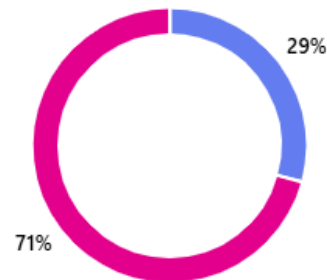
Q AIドリルの活用により、家庭学習にどのような変化がありましたか。（対象：4年生以上の児童）

- 家庭学習の量が増えた
- 家庭学習の質が向上した
- 変わらない
- 家庭学習の量が減った
- 家庭学習の質が落ちた



Q AIドリルの活用で学習がよく分かった・できるようになったと感じますか。（対象：4年生以上の児童）

- とてもそう思う
- そう思う
- 思わない



(2) 不登校児童への支援

不登校児童のために、オンラインで授業を配信した。Teams上にアップされた週計画（時間割）を確認した児童は、Teams上の個人チャネルで「今日は〇時間目の■■■を受けたいです。」と連絡する。その時間になるとオンライン接続で授業を受ける。

「学級の様子が分からないことが怖い（不安）。」と述べていた児童だったが、オンラインで授業を受けることで、学級の様子が分かり、以前に比べ不安感が減ったという反応もあった。校内の別室に登校することもできるなど、効果が見られた。また、保護者からも、授業の様子が把握でき、家庭学習にも役立てられるという反応があった。